

子ども文化地域コーディネーター養成講座

地域での 子ども文化の必要性

参加無料

子どもたちがのびのびと感性豊かに成長するためには、
芸術文化に触れることがとても大切です。
地域社会や地域コミュニティが潜在的に持ち合わせている芸術・
文化の力をどう生かしていくべきなのか一緒に考えてみませんか。

こんな方に受講してほしい!

「文化・芸術に興味がある」

「子どもが好き」

「地域の役に立ちたい」

「新しいことに挑戦したい」

「得意なことを生かしたい」

令和5年

とき

2月11日(土)祝・12日(日)

午後1時30分～午後5時

午前9時～午後5時

ところ

関市文化会館 3階 第3・4会議室

プログラム

- ◎コーディネーターのニーズと役割
 - ◎子どもの生活と地域文化
 - ◎子どもの地域社会環境
 - ◎地域が元気になった事例
 - ◎あなたが創る文化のまち
 - ◎地域のニーズとリサーチ
- (予告なくプログラムに変更がある場合があります)

講師

中川 幾郎氏

(NPO 法人子ども文化地域コーディネーター協会理事長)

森本 真也子氏

(NPO 法人子ども文化地域コーディネーター協会理事)

端野 真佐子氏

(NPO 法人子ども文化地域コーディネーター協会専務理事)

対象

関市内在住または
在勤・在学・活動
拠点のある方

※2日間とも出席できる方

定員

30名
(事前申込
・先着順)

申込先

関市協働推進部
文化課
TEL0575-24-6455

申込受付開始

令和4年
12月1日(木)

申込方法

TELまたは右記の専用申込フォームで申込
必要事項:氏名(ふりがな)、郵便番号・住所、電話番号、
団体名(所属する団体がある場合)、Eメールアドレス
※先着順のため定員に達した時点で受付を終了させて
いただきますので予めご了承ください



※ご入場時の体温チェックで37.5度以上の方は参加をお断りさせていただきます。

※飛沫感染防止のためマスクの着用をお願いします。受講中、休憩時間等、手洗い・うがい・手指の消毒の徹底にご協力ください。

※新型コロナウイルス感染症拡大の状況等により、中止・変更となる場合がありますので、予めご了承ください。

※会場で新型コロナウイルス感染者の来場が確認された場合に保健所等の公的機関へ情報を提供することがあります。

主催 関市
問合せ先 関市協働推進部文化課
0575-24-6455

子ども文化地域コーディネーター養成講座

地域での 子ども文化の必要性

中川 幾郎氏 (なかがわ いくお)

帝塚山大学名誉教授
NPO法人子ども文化地域コーディネーター協会理事長
同志社大学経済学部卒業。
大阪大学大学院国際公共政策 研究科博士後期課程修了。
1969年豊中市役所に勤務。市長公室広報課長を最後に退職。
帝塚山大学法政策学部助教授を経て教授。
現在、自治体学会顧問、日本文化政策学会顧問、
日本コミュニティ政策学会副会長などの役職のほか、自治体の各種委員等も多数兼務。
「まちづくり」「地方分権」「地域文化」「人権」「国際交流」等の幅広いテーマを持ち、
具体的で分かり易い講演内容が好評を博している。



森本 真也子氏 (もりもと まよこ)

NPO法人子どもと文化全国フォーラム代表理事
NPO法人子ども文化地域コーディネーター協会理事
子どもと舞台芸術大博覧会実行委員会事務局長
(公社)全国公立文化施設協会コーディネーター
東京学芸大学幼稚園教諭養成課程卒業後、
小学校区域から青梅市・東京都・首都圏・全国にわたり、
子どもと地域の文化事業の企画・運営・コーディネートに
30年以上携わっている。



端野 真佐子氏 (はたの まさこ)

NPO法人子ども文化地域コーディネーター協会専務理事。
2001年よりアートコンプレックス1928や大阪市立芸術創造館において、
演劇やダンス等の公演制作を務めたほか、
貸館業務、技術管理などを担当。
2021年、「文化芸術×共生社会フェスティバル」事務局。
現職は、NPO法人シアター・アクセシビリティ・ネットワーク(TA-net)の
事業コーディネーター。



<http://kodomo-bunka-co.org/index.html>

